

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クレヴィア四條大宮新築工事	階数	地上7F
建設地	京都府京都市中京区壬生坊城町5番	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	201 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 0.0	評価の実施日	2013年11月1日
敷地面積	1,443 m ²	作成者	芝 智
建築面積	974 m ²	確認日	2013年11月5日
延床面積	4,906 m ²	確認者	吉村 洋祐



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地北側が沿道型美観形成地区に位置し、バルコニー側、共用廊下側は底の水平ラインを強調したデザインとした。道路に面したファサードは、マリオンを効果的に配置し、モダンで高級感のあるデザインとした。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を採用した。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3など、耐久性に優れた建物としている。
Q3 室外環境 (敷地内) 道路沿いに可能な限り緑地を設け、周辺環境への良好な住環境の形成に配慮した。	LR3 敷地外環境 ゴミ置き場を設置し、廃棄物処理負荷抑制に配慮した。
LR1 エネルギー 屋上の太陽光発電設備を設置した。	LR2 資源・マテリアル PC部材を極力採用し、型枠等の使用材料の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される